

情報通信技術 (ICT) と貧困問題



東京外国語大学・東京農工大学・電気通信大学による
文理協働型グローバル人材育成プログラム

「貧困」とは、生活をしていくためのお金がないことだけではなくありません。十分な食事が取れないことによる栄養不良、教育、医療などの基本的なサービスをうけることができない、社会的な差別を受ける、なにかを決定するする場面に参加することができないなど、さまざまなことを含んでいます。現在、発展途上国にも急速に携帯電話が普及しています。携帯電話による生活の変化について考えてみましょう。

携帯電話のグローバルな普及

篠崎彰彦氏の「グローバルな視点で見たICTの奔流」では、固定電話、携帯電話、インターネットとGDPについて、1990年(平成2年)から2010年(平成22年)までの格差の変化について調べています。

図1の横軸は世界の人口の割合で豊かさの順で並べてあります。この図では、グラフの曲線が斜めの破線に近づくほど格差が小さいことを意味します。これらの図を見ると、どの項目も2010年に向けて格差は縮小していることが読み取れます。その中で固定電話は2005年までは縮小する傾向にありましたが、2005年からはあまり変化がありません。一方、携帯電話とインターネットは2005年以降も大きく縮小する傾向が続いています。

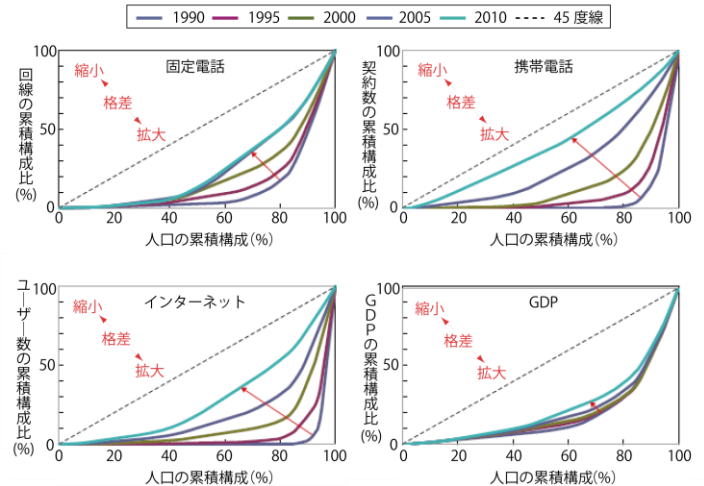


図1: 「固定電話・携帯電話・インターネット・GDPにおける格差の状況」篠崎彰彦「グローバルな視点で見たICTの奔流」国際大学GLOCOM研究ワークショップ発表資料(平成24年)から(一部修正)

携帯電話の普及と人々の生活の変化

平成27年版情報通信白書には、アフリカでの携帯電話加入数とその人口に対する普及率の推移を示すグラフが掲載されています(図2)。このグラフから、2003年末から2014年末の11年間に約10倍に成長しているのが分かります。このような携帯電話の急速な普及を契機として、アフリカ諸国では金融、医療などの様々な分野での産業革新や生活改善が始まり「モバイル」革命と呼ばれています。

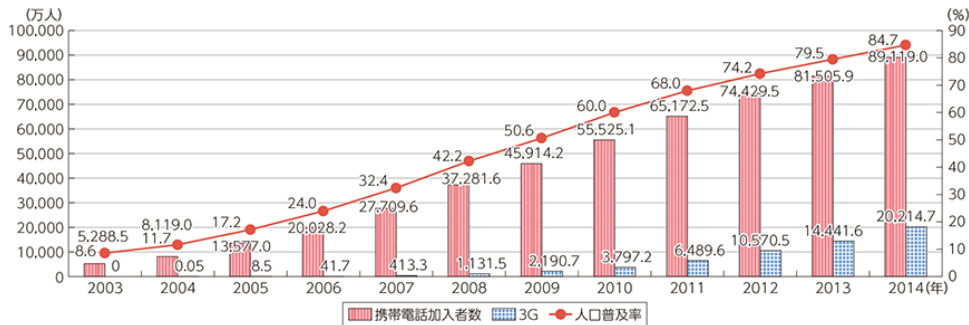


図2 「アフリカでの携帯電話加入数と普及率の推移」平成27年版情報通信白書より

ア. モバイル送金

モバイル送金は、銀行口座を持たない人でも、携帯電話のショートメッセージ(SMS)で手続や本人確認をすることで、金融取引を行うことができるサービスのことで、銀行口座を持たない人の多いアフリカ諸国では、モバイル送金の利用者が増加しており、先進諸国に出稼ぎに出た家族からの送金などに利用されています。

イ. 農業における携帯電話の利用

農家の人々は、これまで買い手の「言い値」で作物を取り引きしてきましたが、携帯電話の普及により市場での適正価格を知ることができるようになりました。また、農作物の栽培方法や天気についても、SMS等で提供される農業支援サービスの情報によって、新たな生産方法に関する情報が入手できるようになり、効率的になりました。

考えてみよう

- ✓ なぜ貧しい人々にも固定電話ではなく携帯電話の普及が進んだのでしょうか。
- ✓ 世界のへんぴな土地に暮らす人々や、貧しい人々に携帯電話などのICT機器をさらに普及させるには、技術的にどのような課題を解決する必要があるのでしょうか。
- ✓ 貧困の解決に結びつく携帯電話やインターネットの利用方法には上に挙げた例の他にどのようなことがあるのでしょうか。